

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003 - 24273

(P2003 - 24273A)

(43)公開日 平成15年1月28日(2003.1.28)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マコード [*] (参考)
A 6 1 B 1/04	372	A 6 1 B 1/04	4 C 0 6 1
G 0 9 G 5/00	510	G 0 9 G 5/00	5 C 0 5 4
		510 V	5 C 0 8 2
H 0 4 N 7/18		H 0 4 N 7/18	M
			U
審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 9 数)			

(21)出願番号 特願2001 - 214285(P2001 - 214285)

(22)出願日 平成13年7月13日(2001.7.13)

(71)出願人 000000376

オリンパス光学工業株式会社

東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号

(72)発明者 大島 龍

東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号 オリン

パス光学工業株式会社内

(74)代理人 100076233

弁理士 伊藤 進

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 画像処理装置

(57)【要約】

【課題】 高画質モニタ及びサブモニタ別々に映像信号パラメータの設定ができ、診断・検査の効率化をはかる。

【解決手段】 ユーザ設定画面では、ユーザが使用時に設定する項目を一つの画面で設定し、かつ設定データを Backup RAM 39 に記憶することにより、電源 OFF した場合でも保存可能となる。また、ユーザ名ごとにデータを保存することにより、容易にデータの管理、変更、読み出しが可能となる。

Mode	Str. 1	Str. 2	Str. 3
Mode 1	1	1	1
Mode 2	3	2	2
Mode 3	5	5	5

画面サイズの選択を設定。
高画質モニタの表示モードを設定。

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 内視鏡から得られる被写体像を映像信号として出力する画像処理装置において、
少なくとも、第 1 の解像度の映像信号を出力する第 1 の映像信号出力手段と、
第 2 の解像度の映像信号を出力する第 2 の出力手段と、
前記第 1 の映像信号出力手段と前記第 2 の映像信号出力手段について、別々に映像信号に関するパラメータを設定するパラメータ設定手段とを備えたことを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】 前記映像信号パラメータは、前記内視鏡から得られる被写体像の拡大率であることを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】 前記映像信号パラメータは、記録指示信号入力時に行われる、前記被写体像のフリーズ時間であることを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】 少なくとも、前記映像信号パラメータを設定する設定画面は、前記第 1 の映像信号出力手段又は第 2 の映像出力手段のうち、双方又は一方のみに出力可能であることを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 5】 前記第 2 の映像出力手段及び映像信号パラメータを操作する回路を有する基板は、外部から着脱自在であり、前記基板が装着されたかを検知する手段を有すると共に、装着したかの確認情報を表示する手段を有することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 6】 前記基板を未装着時には前記第 2 の映像信号のパラメータを設定不能にすることを特徴とする請求項 5 に記載の画像処理装置。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は画像処理装置、更に詳しくはモニタ画面の設定制御部分に特徴のある画像処理装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 近年、体腔内に挿入部を挿入し、挿入部先端に設けた撮像素子により観察部位を撮像しモニタに内視鏡画像を表示させ、患部の診断・検査を行う内視鏡装置が広く用いられるようになってきた。

【0003】 従来より、複数人のユーザによる診断・検査を行う場合、各自が見やすいように、病変検査用の高画質なモニタと確認用のサブモニタを設ける場合が多い。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 その際に、それぞれのモニタをみるそれぞれのユーザの好み・診断方法は異なるため、それぞれのモニタについて、別々に細部の映像信号パラメータの設定を行える必要がある。

【0005】 また、診断中に、設定画面において映像信

号パラメータを設定する場合、双方のモニタにパラメータの設定画面が表示されると被写体画像が表示されないため、診断が中断されてしまい、診断の精度・効率が下がり問題であった。

【0006】 さらに、病変の早期発見のために使用する高画質な記録機器に、容易に対応できるようにして欲しいという、ユーザの要望が強かった。

【0007】 また、内視鏡装置の機能追加を行う場合、基板が追加されたかを判断する手段がなかった為、装置を分解して確認する必要がある、大変な作業であった。

【0008】 また、設定画面における高画質映像出力専用の項目について、追加基板未装着時に、設定不可にする事を表示しないため、ユーザへの誤解を生じるといった問題があった。

【0009】 さらに、高画質映像出力による HDTV の高画質・大画面モニタを使用した場合、ユーザの中には、以下の 2 通りの使用法を設定できることが望まれていた。

【0010】 (1) 高画質だが、被写体像の拡大率は SDTV サイズのまま。今まで SDTV サイズのモニタ上の被写体像の観察に慣れていたので、HDTV サイズの大画面化を行うと目が疲れやすいユーザがいる。

【0011】 (2) 高画質でかつ、被写体像の拡大率は HDTV サイズ・病変発見を重視するユーザがいる。

【0012】 本発明は、上記事情に鑑みてなされたものであり、高画質モニタ及びサブモニタ別々に映像信号パラメータの設定ができ、診断・検査の効率化をはかることのできる画像処理装置を提供することを目的としている。

【0013】

【課題を解決するための手段】 本発明の画像処理装置は、内視鏡から得られる被写体像を映像信号として出力する画像処理装置において、少なくとも、第 1 の解像度の映像信号を出力する第 1 の映像信号出力手段と、第 2 の解像度の映像信号を出力する第 2 の出力手段と、前記第 1 の映像信号出力手段と前記第 2 の映像信号出力手段について、別々に映像信号に関するパラメータを設定するパラメータ設定手段とを備えて構成される。

【0014】

【発明の実施の形態】 以下、図面を参照しながら本発明の実施の形態について述べる。

【0015】 図 1 ないし図 7 は本発明の一実施の形態に係わり、図 1 は内視鏡装置の構成を示すブロック図、図 2 は図 1 のフロントパネルの構成を示す図、図 3 は図 1 の画像処理装置により表示されるユーザ設定画面の一例を示す図、図 4 は図 1 の画像処理装置により表示されるユーザ設定画面の変形例を示す図、図 5 は図 1 の画像処理装置の作用を説明する第 1 の図、図 6 は図 1 の画像処理装置の作用を説明する第 2 の図、図 7 は図 1 の画像処理装置により表示されるシステム設定画面の一例を示す

図である。

【0016】本実施の形態の内視鏡装置は、図1に示すように、被写体像を撮像する内視鏡1と、内視鏡1内のCCD1aから送られる撮像信号を画像処理してSDTV又はHDTV相当の映像信号に変換しSDTVモニタ3、HDTVモニタ5又は記録機器4、6に送る画像処理装置2と、内視鏡1に照明光を供給する光源装置7とを備えて構成される。なお、ここで記録機器4、6とは、VTR、プリンタ、ファイリング装置、写真撮影装置などのことをいう。

【0017】画像処理装置2は、内視鏡1内のCCDから送られるアナログ信号にCDS、クランプ処理などの処理を行うアナログ映像処理回路11と、アナログ映像処理回路11の出力をアナログーデジタル変換を行うA/D回路12と、A/D回路12の出力に対してフォトカプラ、トランスなどにより絶縁処理を行う絶縁回路13と、R、G、B信号のレベル調整を行う色調整回路14と、G信号を基準として、ホワイトバランス処理を行うホワイトバランス回路15と、ガンマ補正を行うガンマ補正回路16とを有している。

【0018】また、画像処理装置2は、フリーズ回路20、拡大・縮小回路21、強調処理回路22、マスク回路23、文字合成回路24、グラフィックIC25、VRAM26、カラーバー回路27、セクタ28、エンコーダ29、D/A変換回路30、ブザー31、WDT（ウォッチドッグタイマ）32、発信器33、CPU34、アドレスデコーダ35、ROM36、RAM37、RTC38、BackUPRAM39、SIO40、PIO41等を備えている。

【0019】詳細には、フリーズ回路20は、色ずれ補正などを行い、画像をフリーズする。

【0020】拡大・縮小回路21は、画像の拡大又は縮小を行う。

【0021】強調処理回路22は、構造強調、輪郭強調、Ihb強調などの強調処理及びRGBの同時化処理を行う。

【0022】マスク回路23は、画像に（例えば8角形の）マスク処理を行う。

【0023】文字合成回路24は、グラフィックIC25で作成されたデータを合成して出力する。

【0024】グラフィックIC25は、内視鏡関連情報（患者ID、患者名、日時、生年月日、周辺機器の接続状況及び記録枚数、ユーザ名、コメント、STOPWatch、各種設定画面、その他内視鏡又は接続される記録機器又はモニタの動作状況や設定状況）を作成する。

【0025】VRAM26は、文字合成などに使用するバッファ（DRAM、FIFO、ROMなど）である。

【0026】カラーバー回路27は、カラーバー又はホワイト画面を表示する。

【0027】セクタ28は、文字合成された観察画像

orカラーバーを選択する。

【0028】エンコーダ29は、RGB信号をY/C又はNTSC信号に変換する。

【0029】D/A変換回路30は、デジタルーアナログ変換を行う。

【0030】ブザー31は、キーボード42又はフロントパネル43上のキーを入力時、又は記録機器4、6のエラー動作時に音を出力する。

【0031】CPU34は、少なくとも、キーボード42又はフロントパネル43のキー入力に応じて各回路の制御を行う。

【0032】アドレスデコーダ35は、CPU34から出力されるアドレス信号からチップセレクト信号を生成し、各回路に出力する事により、各回路を制御する。

【0033】BackUPRAM38は、記憶しておくべきデータ（フロントパネル43及びキーボード42の設定状況、各種設定画面で設定した項目など）を記憶する。電源OFF時にも保持する。

【0034】SIO40は、USB、IEEE1394、RS-232Cなどのシリアルインターフェースであって、モニタ、記録機器、キーボード、光源装置などを制御する制御信号の入出力を行う。

【0035】PIO41は、パラレルインターフェースであって、モニタ、記録機器、フロントパネル、光源装置などを制御する制御信号の入出力を行う。

【0036】ここで、SDTVモニタ3は例えば有効走査線数480本、1ラインあたりの有効サンプル数720のモニタであって、上記フリーズ回路20、拡大・縮小回路21、強調処理回路22、マスク回路23、文字合成回路24、グラフィックIC25、VRAM26、カラーバー回路27、セクタ28、エンコーダ29、D/A変換回路30は、例えば13.5MHz、RGB各8ビットで動作する。

【0037】また、HDTVモニタ5は例えば有効走査線数1080本、1ラインあたりの有効サンプル数1920のモニタであって、画像処理装置2は、フリーズ回路20H、拡大・縮小回路21H、強調処理回路22H、マスク回路23H、文字合成回路24H、グラフィックIC25H、VRAM26H、エンコーダ29H、D/A変換回路30Hを搭載した追加基板51が接続可能となっており、追加基板51は例えば74MHz、RGB各10ビットで動作する。追加基板51の接続状態は、PIO41を介してCPU34に取り込まれるようになっている。

【0038】また、内視鏡1には、内視鏡1の種別を識別する識別回路52が設けられており、PIO41を介してCPU34に取り込まれ、CPU34は内視鏡1の種別に応じた画像処理を行うように上記各回路を制御する。

【0039】図2はフロントパネル43を示す。各キー

SWを押すと、入力信号がPIOを経出して、CPU34に入力される。CPU34は入力信号に基づき、下記の制御を行う。

【0040】モニター出力：セクタ(D/A変換後にあるリレースイッチなど、図示しない)などによって、モニタに表示される画像を選択する。

【0041】スコープ：内視鏡1で撮像された画像を内視鏡関連情報と共に表示する。

【0042】VTR：記録機器4、6の内、VTRからの出力画像を表示する。

【0043】デジタルファイル：記録機器4、6の内、ファイリング装置からの出力画像を表示する。

【0044】ビデオプリンタ：記録機器4、6の内、ビデオプリンタからの出力画像を表示する。

【0045】プリンタ：SIO40を経由して、記録機器4、6の内プリンタを制御し、画像のプリントアウト又はキャプチャー処理を行う。処理中は、スイッチ上部のLEDが点灯又は点滅する。

【0046】スタンダード：フロントパネル43又はキーボード42により設定された、各設定データ(後述するユーザ設定画面、システム設定画面を含む、すべての設定画面上の設定データ)の一部又はすべてをリセットする。

【0047】強調：キーSWを押す毎に、強調設定が123123と変更すると共に、SW上部のLEDが変更する。強調設定モードは、図3、4に示すユーザ設定画面によって設定される。

【0048】拡大：キーSWを押す毎に、強調設定が012012と変更すると共に、SW上部のLEDが変更する。拡大設定モードは、図3、4に示すユーザ設定画面によって設定される。

【0049】測光：キーSWを押す毎に、調光モードがオートピーク平均オートと変更すると共に、SW上部のLEDが変更する。CPU34はSIO40又はPIO41を経由して、光源装置7を制御し、調光を行う。

【0050】ホワイトバランス：キーSWが押されると、CPU34はホワイトバランス回路15を制御し、ホワイトバランス処理を行う。処理中は、上部のLEDを点灯又は点滅する。処理エラーの場合は、LEDを点滅する。

【0051】赤/青：キーSWを押す毎に、変更する色調をOFF赤青と選択変更すると共に、SW上部のLED(赤、青の部分)が変更する。赤又は青選択時は、右となりのカーソルキーにより、色調値を変更する(図1の色調整回路14を制御する)と共に、上部のパラメータ表示用LEDを変更する。

【0052】図1の追加基板51を接続時には、接続検知信号が"L"になり、未接続時には、"H"になる。電源ON時又はスタンダードSW入力時に、CPU34

はPIO41を経由して検知信号レベルを読み取り、以下の処理を行う。

【0053】検知信号が"H"の場合：図2の「高画質」のLEDを消灯する。モニタに未接続の旨を表示する(電源ON時に一定時間のみ表示してもよい)。

【0054】ユーザ設定画面の内、追加基板のみで設定する項目(例えば、図3、図4のENHANCEのIhbCe、Ihb、ImageSizeのHDMode、HD。図7のHDTVSetting、ReleaseTimeのHDTVなど)はグレー処理などを表示変更を行うと共に、設定ができないようにカーソル移動の際、スキップするようにする。

【0055】検知信号が"L"の場合：図2の「高画質」のLEDを点灯する。モニタに接続の旨を表示する(電源ON時に一定時間のみ表示してもよい)。

【0056】ユーザ設定画面の内、追加基板51のみで設定する項目を設定可能にする。

【0057】図3、4はユーザ設定画面の一例を示す。本画面では、ユーザが使用時に設定する項目を一つの画面で設定し、かつ設定データをBackupRAM39に記憶することにより、電源OFFした場合でも保存可能となる。また、ユーザ名ごとにデータを保存することにより、容易にデータの管理、変更、読み出しが可能となる。設定項目は、以下の通りである。

【0058】User：ユーザー名の登録。

【0059】ScopeSwitch：内視鏡1に具備している(図示しない)SWを押下時に行う機能の設定を行う。

【0060】Enhance：フロントパネル43の強調のキーSW入力時、又はScopeSwitchでEnhanceの設定を行ってScopeSWを押下時に変更される強調のモード1、2、3それぞれについて、構造強調又は輪郭強調(Str.1の表示の箇所)及びIhbCeのパラメータの設定を行う。

【0061】ImageSlze：モニタに表示される観察画像のサイズの設定を行う。フロントパネルの拡大キーSW又はキーボードの(図示しない)画像サイズキーを押す毎に、設定したサイズが交互に切り替わる(本例では、FullサイズとMediumサイズが切り替わる)。

【0062】HDMode：モニタ5上に表示される画面の拡大サイズの変更を行う。

【0063】SD：モニタ3(SDTVモニタ)の拡大サイズの設定を行う。

【0064】HD：モニタ5(HDTVモニタ)の拡大サイズの設定を行う(モニタ3、モニタ5それぞれについて、拡大サイズを設定可能)。

【0065】ヘルプメッセージエリア：キーボードの(図示しない)カーソル移動キーにより、選択された上記設定項目に関する、説明、補助情報、入力方法等を表

示する。

【0066】図5、6にHDMoDeによる設定の一例を示す。図5はHDMoDe=Norma1の時の拡大サイズを示す。拡大サイズがモニタ3(SDTVモニタ)及びモニタ5(HDTVモニタ)双方とも、同じ拡大サイズとなる。

【0067】これより、従来SDTVモニタを使用していたユーザがHDTVモニタを使用した場合でも、同じ拡大サイズとなるため、違和感なく使用できると共に、拡大サイズが大きすぎる状態での長期使用時に発生する、目の疲労による診断率の低下を防ぐ事ができる。

【0068】図6はHDMoDe=Largeの時の拡大サイズを示す。モニタ5(HDTVモニタ)はモニタ3(SDTVモニタ)より大画面であるため、画面全体に観察画像が表示できるような拡大サイズとなる。

【0069】これより、観察画像を拡大して、病変部の診断効率を高めることが可能となる。

【0070】ImageControl:Iris、Contrast:調光、コントラストの設定。

【0071】Enh.Type:EnhanceのStr.部の設定の切り替えを行う。構造強調1、2(Str.1、Str.2)、輪郭強調(Edge)の切替えを行う。パラメータ設定の上の表示も切り替える。

【0072】図7はシステム設定画面の一例を示す。本画面は、複数のページを持ち、画面上部にページ番号を表示する。キーボードの(図示しない)ページ切替えキーにより、1回の入力で、ページの切替えが可能である。設定データをBackUPRAM39に記憶する事により、電源OFFした場合でも保存可能となり、容易にデータの管理、変更、読み出し、自動設定が可能となる。

【0073】HDTVSetting:MON。

【0074】SCOPE:モニタ5(HDTVモニタ)に表示する画像の信号の種類(RGB、Y/C、NTSC)を選択する。

【0075】Display:各種設定画面(システム設定画面、ユーザ設定画面、その他本装置の設定に関するすべての設定画面)を表示するモニタを選択する。

【0076】SDTV:モニタ3(SDTVモニタ)のみで設定画面を表示する。

【0077】HDTV:モニタ5(HDTVモニタ)のみで設定画面を表示する。

【0078】HDTV+SDTV:モニタ5+モニタ3で設定画面を表示する。

【0079】本設定より、CPU34はそれぞれのグラフィックIC25及び文字合成回路24を制御し、各種設定画面の表示制御を行う。

【0080】Patient、Data:電源OFF時にBackUPRAM39にデータを保存するか、消去するかを選択する。

*【0081】ImageRecord:SCVRemote。

【0082】SCVCounter:記録機器の内、写真撮影装置のリモートのON/OFF制御、及び撮影枚数の初期化を行う。

【0083】D.FRemote:記録機器の内、ファイリング装置のリモートのON/OFF制御を行う。

【0084】ReleaseTime:内視鏡1に具備される(図示しない)SW又はキーボード42上の(図示しない)キーSWにより、リリース(記録指示)入力を行った場合に、観察画像をフリーズする時間を設定する。

【0085】SCV:記録機器4、6の内、写真撮影装置に出力する観察画像のフリーズ時間を設定する。

【0086】D.F:記録機器4、6の内、ファイリング装置に出力する観察画像のフリーズ時間を設定する。HDTV:モニタ3(HDTVモニタ)に表示された観察画像のフリーズ時間を設定する。

【0087】SDTV:モニタ5(SDTVモニタ)に表示された観察画像のフリーズ時間を設定する。

【0088】本設定により、CPU34はフリーズ回路20をそれぞれ制御し、フリーズ時間を制御する。

【0089】このように本実施の形態では、複数人のユーザが診断時に、少なくとも病変検査用の高画質モニタと確認用のサブモニタを使用している場合に、モニタをみるそれぞれのユーザの好みに応じて、高画質モニタ及びサブモニタ別々に映像信号パラメータの設定が可能となるため、診断・検査の効率化をはかれる。

【0090】また、病変の早期発見のために使用する高画質な記録機器に容易に対応可能なため、診断精度が向上する。

【0091】さらに、内視鏡装置の機能追加を行う場合、基板が追加されたかを外部から容易に判断可能なため、装置を分解する必要がなく、作業の効率化がはかれる。

【0092】また、高画質映像出力によるHDTVの高画質・大画面モニタを使用した場合、拡大率をユーザの好みに応じて容易にカスタマイズできるため、ユーザの負担が減り、診断効率が上がる。

【0093】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、高画質モニタ及びサブモニタ別々に映像信号パラメータの設定ができ、診断・検査の効率化をはかることができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態に係る内視鏡装置の構成を示すブロック図

【図2】図1のフロントパネルの構成を示す図

【図3】図1の画像処理装置により表示されるユーザ設定画面の一例を示す図

【図4】図1の画像処理装置により表示されるユーザ設定画面の変形例を示す図

【図5】図1の画像処理装置の作用を説明する第1の図

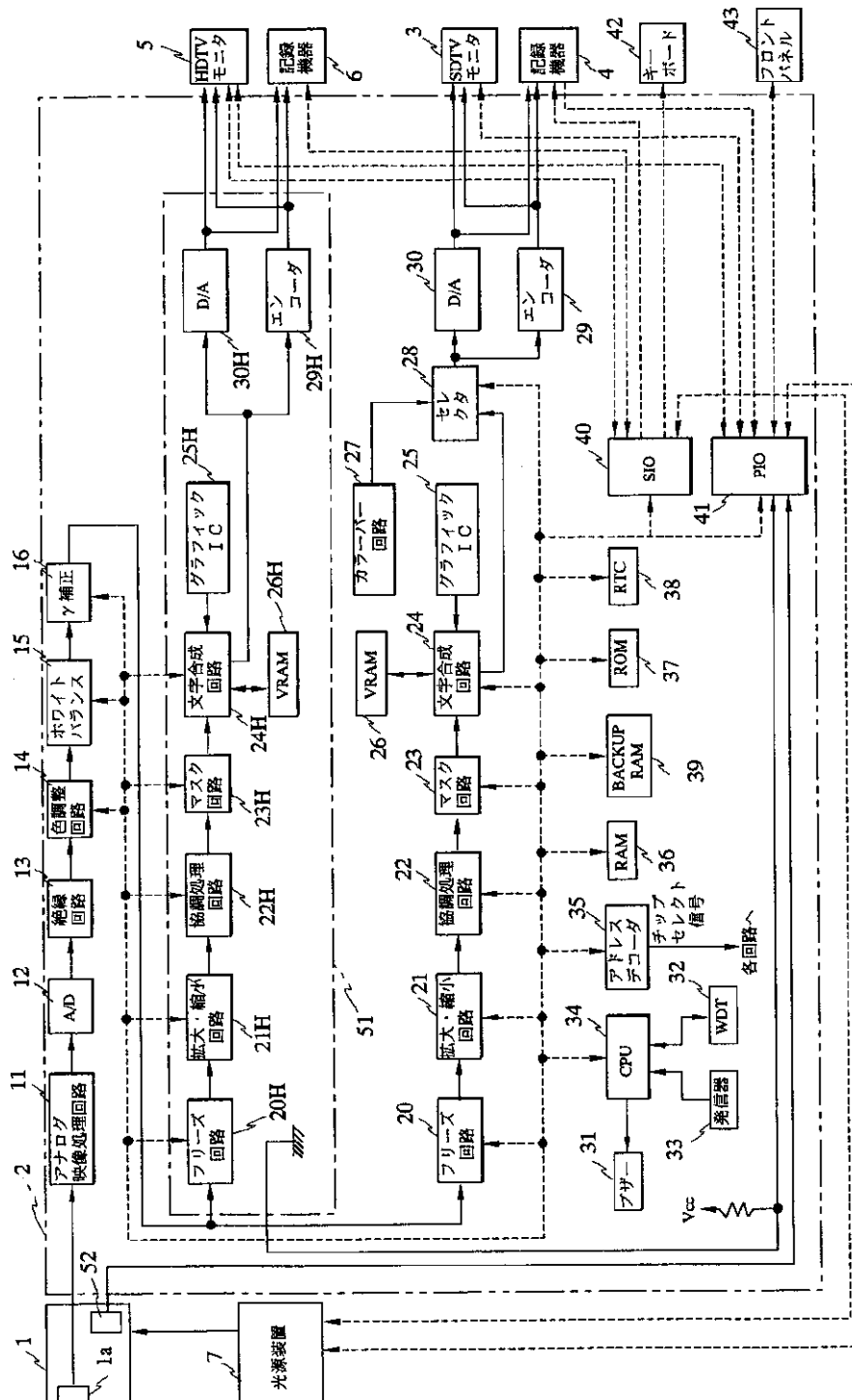
【図6】図1の画像処理装置の作用を説明する第2の図

【図7】図1の画像処理装置により表示されるシステム設定画面の一例を示す図

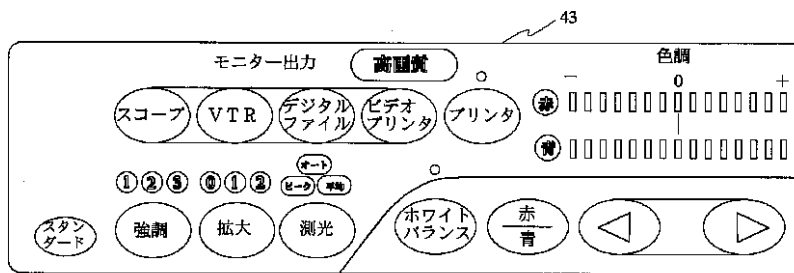
【符号の説明】

- 1...内視鏡
- 2...画像処理装置
- 3...SDTVモニタ
- 5...HDTVモニタ
- 4, 6...記録機器
- 7...光源装置

【図1】



【図2】



【図3】

User Preset - Edit Data

User: Dr. Takemura

Scope Switch	
Switch1	Freeze
Switch2	Iris
Switch3	Enhance
Switch4	Release

Enhance		
	Str. 1	IHb Ce
Mode 1	1	1
Mode 2	3	2
Mode 3	5	5

Image Size	
Size	Full<->Medium
HD Mode	Normal

ヘルプ・メッセージエリア

Image Control	
Iris	Ave.
Contrast	Normal
Enh. Type	Str. 1
Enh. Pos	1
IHb	
IHb Area	All
IHb Range	Normal
Zoom	
0	1
1	3
2	5
Factory Default	

画面サイズの設定。
高画質モニタの表示モードを設定。

【図7】

System Setup(1/2)

HDTV Setting	
Mon. Scope	RGB
Display	HDTV+SDTV
Patient Data	Resume

Image Record	
SCV Remote	ON
SCV Counter	01
D.F. Remote	ON
Release Time	
SCV	0.5
D.F.	0.5
HDTV	0.1
SDTV	0.5

ヘルプ・メッセージエリア

【図4】

User Preset - Edit Data
User:

Scope Switch		
Switch1	Freeze	
Switch2	Iris	
Switch3	Enhance	
Switch4	Release	

Enhance		
Mode 1	Str.1	IHb Ce
Mode 2	3	2
Mode 3	5	5

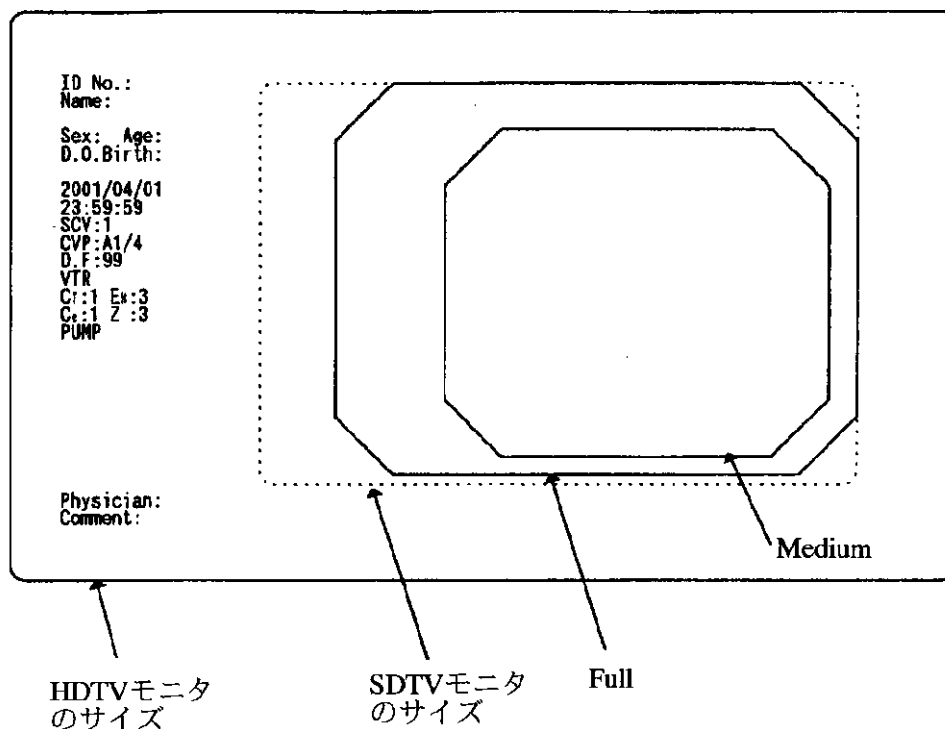
Image Size	
SD	Full<->Medium
HD	Full<->Semi-Full

Image Control	
Iris	Ave.
Contrast	Normal
Enh.Type	Str.1
Str.Pos	1
IHb	
IHb Area	All
IHb Range	Normal
Zoom	
0	1
1	3
2	5
Factory Default	

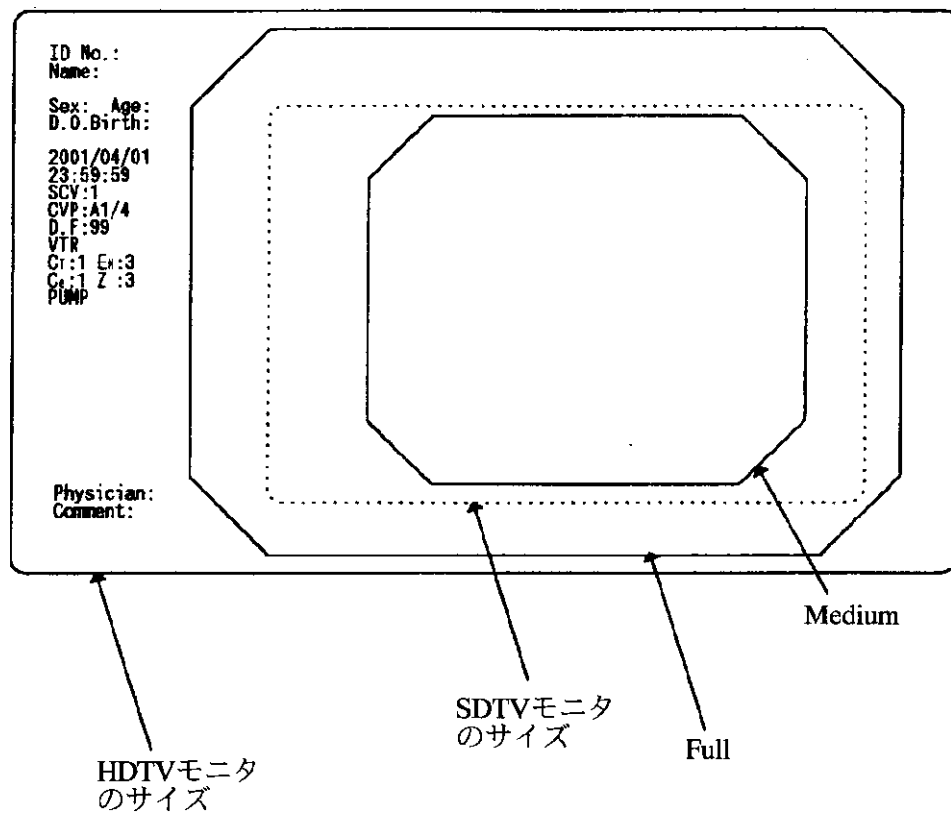
ヘルプメッセージエリア

画面サイズの選択をそれぞれのモニタについて、設定。

【図5】



【図6】



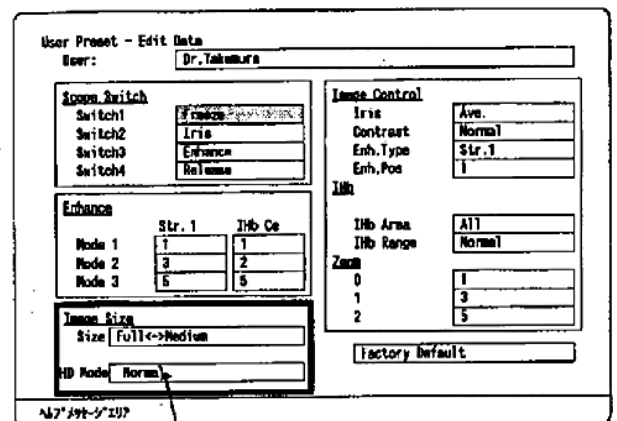
フロントページの続き

F ターム(参考) 4C061 CC06 LL02 NN01 NN05 NN07
SS01 SS30 WW01 WW03 WW08
WW10 WW18 YY03 YY04 YY12
5C054 AA01 CH01 EA01 EA05 EA07
FE00 FE04 FE09 GB01 GD03
HA12
5C082 AA04 BA12 BB15 BB22 BB25
BB53 BC16 BC19 CA33 CA34
CB01 DA53 DA63 DA73 DA86
MM02 MM09

专利名称(译)	图像处理设备		
公开(公告)号	JP2003024273A	公开(公告)日	2003-01-28
申请号	JP2001214285	申请日	2001-07-13
[标]申请(专利权)人(译)	奥林巴斯株式会社		
申请(专利权)人(译)	オリンパス光学工業株式会社		
[标]发明人	大島 龍		
发明人	大島 龍		
IPC分类号	A61B1/04 G09G5/00 H04N7/18		
FI分类号	A61B1/04.372 G09G5/00.510.D G09G5/00.510.V H04N7/18.M H04N7/18.U A61B1/00.550 A61B1/04.510 A61B1/045.610 A61B1/045.640 A61B1/05		
F-TERM分类号	4C061/CC06 4C061/LL02 4C061/NN01 4C061/NN05 4C061/NN07 4C061/SS01 4C061/SS30 4C061/WW01 4C061/WW03 4C061/WW08 4C061/WW10 4C061/WW18 4C061/YY03 4C061/YY04 4C061/YY12 5C054/AA01 5C054/CH01 5C054/EA01 5C054/EA05 5C054/EA07 5C054/FE00 5C054/FE04 5C054/FE09 5C054/GB01 5C054/GD03 5C054/HA12 5C082/AA04 5C082/BA12 5C082/BB15 5C082/BB22 5C082/BB25 5C082/BB53 5C082/BC16 5C082/BC19 5C082/CA33 5C082/CA34 5C082/CB01 5C082/DA53 5C082/DA63 5C082/DA73 5C082/DA86 5C082/MM02 5C082/MM09 4C161/CC06 4C161/LL02 4C161/NN01 4C161/NN05 4C161/NN07 4C161/SS01 4C161/SS30 4C161/WW01 4C161/WW03 4C161/WW08 4C161/WW10 4C161/WW18 4C161/YY03 4C161/YY04 4C161/YY07 4C161/YY12 4C161/YY14 5C054/EF00 5C182/AB12 5C182/AC13 5C182/BA01 5C182/BA03 5C182/BA14 5C182/BA24 5C182/BA72 5C182/BB01 5C182/CA22 5C182/CB03 5C182/CB13 5C182/CB14 5C182/CB47 5C182/CC25 5C182/DA04 5C182/DA62 5C182/DA63 5C182/DA65		
代理人(译)	伊藤 进		
其他公开文献	JP5259032B2		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

要解决的问题：分别为高图像质量监视器和子监视器设置图像信号参数，并提高诊断和检查的效率。 在用户设置屏幕中，用户在使用时设置的项目被设置在一个屏幕上，并且设置数据被存储在备份RAM 39中，从而即使当电源关闭时，也可以保存。此外，通过保存每个用户名的数据，可以轻松管理，更改和读取数据。



画面サイズの選択を設定。
高画質モニタの表示モードを設定。